

脱炭素の取り組みを加速、再生可能エネルギー活用を拡大 PPAモデルを導入し、太陽光発電電力を活用してまいります

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、再生可能エネルギーの活用拡大に向け、当社が運営する施設へのPPA「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」モデル※の導入を開始します。

当社は、マックスバリュ沼ノ端店、マックスバリュ弥生店（いずれも苫小牧市）の2店舗においてPPA事業者が敷地スペースを提供し、PPA事業者が太陽光パネルを設置、そこで発電された電力をマックスバリュ沼ノ端店、マックスバリュ弥生店が自家消費分として購入・活用する契約を、7月12日に締結しました。当社でのPPAモデル導入は今回が初めてです。

イオンは、2018年に策定した「イオン脱炭素ビジョン2050」に基づき、省エネ・創エネの両面から店舗で排出する温室効果ガス（以下、CO₂等）を2050年までに総量でゼロにする取り組みをグループを挙げて進めています。当社も、同様の目標で脱炭素に向けた取り組みを推進しており、省エネに加え、再生可能エネルギーの活用拡大も、積極的に取り組んでいます。

今回のPPAモデル導入は、この目標達成に向けた取り組みの一環であり、これにより、両店舗で使用する電力のうち、約20%が再生可能エネルギーとなります。今後においては、再生可能エネルギー100%使用店舗への転換を目指し、加えて当社が運営するほかの施設においても太陽光発電電力利用拡大を進め、更なる再生可能エネルギーへの転換を加速します。

イオンは、お客さまの生活そのものを事業の軸とする企業として、皆さまが日常の中で自然に脱炭素に向けた行動を取れる店づくりはもとより、商品やサービスを通じて、すべての事業活動で持続可能性を追求し、グループが持つあらゆるリソースを活用して地域全体での脱炭素化の実現に向け、取り組みを加速し、当社も積極的に推進してまいります。

※PPAモデル：

「Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル」の略で、PPA事業者が電力需要家の敷地や屋根等のスペースを借り太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデル

<PPAモデル概略図>



以上

ご参考

<導入施設と太陽光発電設備の概要>

対象施設	マックスバリュ沼ノ端店	マックスバリュ弥生店
所在地	北海道苫小牧市北栄町3丁目1番8号	北海道苫小牧市弥生町1丁目9番1号
敷地面積	約19,880㎡	約17,780㎡
延床面積	約2,980㎡	約2,920㎡
太陽光パネル容量	312.84kW	346.50kW
運用開始予定	2021年12月	

<本契約のPPA事業者>

商号：北海道電力株式会社
代表者：代表取締役社長 藤井 裕
所在地：北海道札幌市中央区大通東1丁目2番地

<イオン 脱炭素ビジョン2050>

店舗	店舗で排出するCO ₂ 等を2050年までに総量でゼロにします。
商品・物流	事業の過程で発生するCO ₂ 等をゼロにする努力を続けます。
お客さまとともに	すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

達成手段の考え方	イオンのCO ₂ 排出量の約9割が電力由来	▶ 店舗使用電力の削減と再エネ転換	省エネ 再エネ
-----------------	----------------------------------	-------------------	--------------------------

[これまでの取り組み]



■SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。当社は、SDGsの目標達成に向けて取り組みを推進しています。この取り組みは、7、11、12、13、17の達成に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

